

12月23日(金) 16:00-18:30

## 第三者のチカラ

### —慰霊研究から死生学への提言

西村 明 (鹿児島大学法文学部准教授)

12月24日(土) 16:30-18:30

## 低線量被曝をめぐる問題と論点

島菌 進 (東京大学大学院人文社会系研究科教授)

一ノ瀬正樹 (東京大学大学院人文社会系研究科教授)

東日本大震災は地震や津波による災害だけでなく、原発事故を通じて人々に今なお続く苦しみをもたらし続けています。グローバルCOE「死生学の展開と組織化」では、こうした問題について考えるため、原爆を投下された長崎の人々の慰霊のあり方について、鹿児島大学の西村明氏を招いて講演していただきます。また、グローバルCOEからは、島菌教授、一ノ瀬教授が、現在問題となっている低線量被曝について論じ、その問題の核心と論点を考えていきます。

グローバルCOE「死生学の展開と組織化」研究会議

# 慰霊と被曝をめぐる死生学

日時：2011年12月23日(金) 24日(土)

会場：ベストウエスタンプレミアホテル長崎

主催：東京大学グローバルCOEプログラム「死生学の展開と組織化」